

5月定例所長会見における発電所長挨拶内容

所長の横村でございます。

福島第一原子力発電所の事故から5年2ヶ月が経過いたしました。未だ、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑とご心配をおかけし続けている状況について、あらためて心よりお詫び申し上げます。

本日、私からは3点お話しをさせていただきます。

はじめに、発電所内の安全対策の取り組み状況についてです。

構内の高台に設置しておりました空冷式ガスタービン発電機車につきましましては、さらなる安全性・信頼性の向上の観点から3台から1台を追設し、4台を再配置することとしております。その再配置の状況ですが、このたび、既設分3台の内の1台について、1~4号機側の海拔約21mの高台へ再配置が完了いたしました。

この再配置に合わせ、竜巻対策、火災防護対策、雷対策等を施しており、自然災害に対する備えがさらに強化されたものと考えております。

また、7号機プラント周辺への再配置につきましましては、現在、基礎杭の設置工事を順次進めております。

今後も、安全対策工事に引き続き着実に取り組んでまいります。

次に、「原子力災害対策充実に向けた考え方」に係る事業者の取り組みに関する報告についてです。

本年3月11日の原子力関係閣僚会議において決定された「原子力災害対策充実に向けた考え方」を踏まえ、経済産業大臣より現在

2016年5月12日

の取り組み状況の報告要請をいただいておりますが、先月15日に当社における取り組みを取りまとめ、報告させていただきました。

この報告においては、福島第一原子力発電所の事故以降に改善してまいりました緊急時の体制や安全対策の取り組み状況について、改めて取りまとめでご報告させていただきます。

引き続き、緊急時を想定した訓練を重ね習熟度を高めていくとともに、福島事故の教訓を踏まえた安全対策に着実に取り組み、発電所のさらなる安全性・信頼性の向上を目指してまいります。

次に、ゴールデンウィーク期間中のサービスホールへの来館状況についてです。

ゴールデンウィークの4月29日から5月5日までの期間中において、約1,900名と大変多くの皆さまに発電所へお越しいただきました。また、その間、ご来館いただきました4分の1の方々には、発電所内を視察いただきました。

サービスホールにおきましては、原子力発電所の仕組みや必要性、国内外のエネルギー事情、当発電所で取り組んでおります安全対策や訓練の状況、福島第一原子力発電所における廃炉に向けた取り組み、福島復興推進活動の状況などをご覧いただくことができます。

今後も、機会を捉えて、地域の皆さまに安全対策の取り組みをご説明し、皆さまからのご理解につながるよう努めてまいります。

最後に、私事ですが、6月29日付けで柏崎刈羽原子力発電所長の任を離れることとなりました。平成22年よりこの間、大変お世話になり、この場をお借りして御礼申し上げます。

発電所長としての在任期間はまだ1ヶ月以上残されておりますので、残された期間の最後まで、全力で責務を全うしていく所存です。

2016年5月12日

本日、私からは以上です。

以上